大切な人へ、そして大切な地球へ。

Present Tree. in ひろの

森の交流イベント＆ 被災地視察スタディツアー 参加者募集！

開催日：2016年3月6日（日）

広野町は福島県浜通り地方の中部、双葉郡の最も南に位置し、海岸部はその白砂青松により陸前街道の名所と謳われてきました。しかし、東日本大震災による津波の被害により、海岸の様相は一変しました。
2016年春に完成する「ひろの防災緑地」は、町民の皆さまが震災の教訓を活かし、町の人々の命を守るとともに、震災の記憶を未来へつないでいくことを目指しています。
また、本ツアーでは、現地ガイドによる広野町と双葉郡の現状を知るスタディツアーも実施します。

定員　40名

参加費　3,000円（大人／小人共通）

※バス代、昼食代、保険代、ガイド料含む

7:00／7:10	新宿駅西口集合／出発
11:00～12:30	植樹祭式典～植樹
12:30～13:15	昼食
13:15～	被災地訪問（ガイド付き） Jヴィレッジ見学・講話～夜の森・富岡駅前
～16:00	移動（途中、道の駅よつくら港で買い物）
16:10～17:00	かんぽの宿にて入浴
20:00頃	新宿駅西口着

＜お申込み・お問合せ先＞

認定NPO法人環境リレーションズ研究所（Present Tree事務局）
Tel. 03-5283-8143　✉ptmail@presenttree.jp

※お申込み専用ページは、近日開設予定

防災緑地工事の様子（2015年7月）

防災緑地完成予想図と植栽エリア

ツアー主催：　認定NPO法人環境リレーションズ研究所
旅行企画・実施：　エコツーリズム・ネットワーク【東京都知事登録旅行業第2-4850号 ANTA正会員】

大切な人へ、そして大切な地球へ。

Present Tree® in ひろの

2016年1月14日 スタート！

「Present Tree in ひろの」は、平成27年度 復興庁「新しい東北 先導モデル事業」に採択された「双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト※ 」の一環として、取り組んでいる事業です。
防災緑地の一画に、Present Tree※のしくみを使って広葉樹の森づくりをします。植えた苗木を介して、ご縁のできた町民の皆さまと都市の皆さまとの交流の機会を創出することにより、町に賑わいをとり戻し、広野町の復興と未来を祈りお手伝いできるよう、10年間町民の皆さまとともに活動していきます。

※ Present Tree とは．．．

「人生の記念日に樹を植えよう！」を合言葉に、大切な人や自分自身の記念樹を植えて、森林再生と地域振興につなげるプロジェクトです。都市の人びとに苗木の里親になってもらい、その苗木を介して縁のできた中山間地域との交流人口を増やすことで、森だけでなく地域も元気にしていきます。
植えた苗木には1本1本ナンバープレートが付けられ、10年間森になるまで大切に育てます。苗木の里親になった方には、ナンバープレートの番号が記された「植林証明書」と贈り主からのメッセージカードが届きます。

・Present Tree公式サイト： http://www.presenttree.jp
・Present Tree in ひろの お申込みページ： http://www.presenttree.jp/lineup/lineup22.html

※ 「双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト」とは．．．

震災後約半年にわたって町全体が緊急時避難準備区域に指定されていた広野町では、帰還した町民の数はいまだに半分ほどに留まっています。
このプロジェクトは、町民の帰還促進とコミュニティの再生につなげるため、地域外との交流拡大や地域での雇用創出を通して、広野町の賑わいを取り戻すことを目的としています。

新しい東北 「新しい東北」官民連携推進協議会

平成27年度 復興庁「新しい東北先導モデル事業」

双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト

二ツ沼総合公園・ひろの防災緑地・みかんの丘・オリーブ栽培・オーガニックコットン栽培・・・地域の中で生まれている新しい動きをつないで、広野町に賑わいとなりわい（仕事）を生み出そうというプロジェクト。町内のみならず、いわき市、首都圏の団体や広野町、福島県富岡土木事務所が連携して進めています。

こんな取り組みが始まります・・・

広野パークフェス

5月に再開した二ツ沼総合公園に賑わいを生み出そうと定期開催のイベントを計画しています。

プレゼントツリー in広野

平成28年３月に完成する防災緑地を活用し、町内外の個人や企業とつながりを生み出し植林を進めます。

女性の手仕事づくり

オーガニックコットンやオリーブ、みかんなど広野町の宝を地域の女性の手で新しい広野ブランドに作り上げます。